

経済連携協定（EPA）介護福祉士候補者に配慮した 国家試験のあり方に関する検討会開催要綱

1 趣旨

経済連携協定（EPA）介護福祉士候補者に対して、介護福祉士国家試験において一層の配慮を行う観点から、同試験のあり方について検討する。

2 検討会メンバー

本検討会は、言語学者や介護等の有識者、候補者支援関係者、介護福祉士試験委員等から構成する。（別添）

3 検討課題

- （1）介護福祉士国家試験問題におけるわかりやすい日本語への改善について
- （2）介護福祉士国家試験における母国語・英語での試験とコミュニケーション能力試験の併用の適否について
- （3）EPA 候補者に考えられるその他の配慮について

4 スケジュール

第1回を3月に開催、以降数回程度開催し、6月～7月を目途にとりまとめ（予定）

5 その他

- （1）本検討会は、社会・援護局長が主催し、運営にかかる庶務は、社会・援護局福祉基盤課が行う。
- （2）本検討会の議事は、原則として公開とする。

(別添)

経済連携協定（EPA）介護福祉士候補者に配慮した
国家試験のあり方に関する検討会構成員名簿

朝倉 京子	東北大学大学院医学系研究科教授
川村よし子	東京国際大学教授
北村 聖	東京大学医学教育国際協力研究センター教授
久保田トミ子	新見公立短期大学教授
潮谷 義子	長崎国際大学学長
根本 嘉昭	桃山学院大学教授・介護福祉士国家試験 試験委員長
橋本由紀江	一般社団法人 国際交流&日本語支援“Y”代表理事

(五十音順、敬称略)